令和６年度（２０２４年度）

目黒区エコプラザ指定管理
事業報告書及び決算報告書

エコライフめぐろ推進協会

令和６年度（２０２４年度）事業報告書・決算報告書　目次

○令和６年度目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会で協議事項となった内容の
実施結果について・・・ 1

○令和６年度目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会で協議事項となった内容の
改善策における実施状況について・・・ 5

○令和６年度目黒区エコプラザ指定管理事業計画体系図　・・・・・・・・・・・・・・・8

○令和６年度目黒区エコプラザ指定管理事業報告

1　条例第３条１号事業：講座講習会等を実施すること　・・・・・・・・・・・・・ 9

2　条例第３条２号事業：資料を収集し、利用に供すること・・・・・・・・・・・12

3　条例第３条３号事業：不用物品を再生すること　・・・・・・・・・・・・・・ 16

4　条例第３条４号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること　・・・・ 18

5　条例第３条５号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を
育成すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・19

6　条例第３条６号事業：エコプラザの施設を利用に供すること・・・・・・・・・19

7　条例第３条７号事業：区長が必要があると認める事業・・・・・・・・・・・・20

○目黒区エコプラザ利用実績表　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・25

○令和６年度　目黒区エコプラザ指定管理者事業収支決算書　・・・・・・・・・・・26

（様式 1）

令和 6 年度目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会で
協議事項となった内容の改善策における実施結果ついて

1 事業の実施に関する事項

No	内容	実施結果
1	環境活動団体同士の交流会を継続するとともに、団体とエコプラザの意見交換の場に発展させ、そこで得られた意見や要望を着実に吸い上げ、運営の改善やアイデアに活かされたい。	各団体の意見や要望を吸い上げる場としてエコサポーター懇談会やエコライフ交流会を活用し、団体が抱えている問題点や課題を得て、今後の運営に活かしていく。３月に実施したエコライフ交流会にはエコサポーター２団体が参加した。またその他目黒区内で活動している２団体や個人の方も参加した中で、目黒区エコプラザ職員がファシリテーターとなり意見交換を行い、活動での問題点や要望を吸い上げることができた。
2	児童館での出前講座の参加者数の少なさが課題であり、周知方法の見直しなど参加者を増やす工夫を検討されたい。	出前講座を実施するにあたり、『バスボムづくり』や『お散歩ワンちゃんづくり』では、事前に見本などを飾ってもらい、施設利用者への参加誘導を行った。引き続き事前に見本などを飾ってもらい、施設利用者への参加誘導を行うとともに講座参加者にエコライフの事業をＰＲして、継続的な参加を促す。
3	リサイクルショップの寄付品受付点数や販売点数が減少していること、また、不用品情報提供事業への登録件数が伸びた一方で成約件数が減少し、利用客の固定化も懸念されていることから、施設の周知を含め、さらなる工夫を検討されたい。	リサイクルショップのＰＲについては協会ＨＰ・インスタグラム･TOKYO-ecosteps への掲載など Web での情報提供を行った。その他、各地域のお祭り等イベントへ出向き、積極的にＰＲを行うと共に目黒川沿いに案内やのぼり旗を立てるなど案内を強化した。また不用品情報提供事業については、令和６年末を以って事業を終了したため、区が推奨しているピアッザなどを案内している。
4	環境推進員の年齢層を全世代に拡大するとともに、エコプラザでの事業や講座に若い世代が参加できるような仕組みづくりを検討されたい。	環境推進員養成講座の子ども版である『めざせ！エコマスター』を夏休みに実施し、延参加人数２２８名の参加を得て、『エコマスター』として１７名にメダルを授与した。また、春休み期間中も同様に実施し、２６名に『エコマスター』としてメダルを授与した。 また、６年度の環境推進員養成講座では２名の小学生が参加するなど、幅広い年代の方の参加となった。
5	リサイクルから脱炭素へと目黒区エコプラザに求められる役割が拡大する中で、新たな取組みや対応を検討していく際には、区民の生活実態を踏まえ具体的に示されたい。	企業（パナソニック㈱）とジョイントし『環境にやさしいランタンづくり』『小学校への出前講座あかりの教室』を実施した。また、サロンエコライフ事業を１２月に学芸大学木育研究所と、３月には早稲田大学環境ロドリゲスと連携し多様な団体や若い世代との連携事業に取り組むことができた。

2 管理運営に関する事項

No	内容	実施結果
1	ポストコロナには「コロナ禍前に戻る部分」と「コロナ禍前とは異なった状態になる部分」との両面性があることを踏まえ、ポストコロナでの今後の中長期的なビジョンを示されたい。あわせて、予算決算やアンケート結果などは対前年度のみでなく、コロナ禍以前とも比較されたい。	ゼロカーボンシティの実現に向けた啓発として、エコプラザでの展示を『脱炭素とカーボンニュートラル』として国・東京都・目黒区・エコプラザの取り組みの紹介を行った。また、インスタグラムのクイズ企画を２回実施し、ゼロカーボンシティの実現に向けた啓発を行った。2050 ゼロカーボンシティの実現に向けた積極的な啓発・取り組みとしてイベント参加や出前講座を実施し、引き続きＳＮＳを積極的に活用した情報発信を行った。コロナ禍以前との比較については事業報告をまとめる中で確認した。

3 その他

No	内容	実施結果
1	「護美アート」などのリソースを用い、脱炭素のデータも取り入れたエントランスの効果的な活用を検討されたい。	エコプラザの利用者へ脱炭素やゼロカーボンへの意識啓発の一助として、新たな「護美アート」などの有効活用を工夫し、効果的な活用方法を模索した。３月の春休みには「めざせ！エコマスター」第２弾の中で「護美アート」等を実施し、「目黒区エコプラザ」の案内版と護美アートの葉っぱを作成しエコツリーを飾るなど、エントランスのイメージアップをはかった。
2	パンフレット類のペーパーレス化を図るとともにタイムリーな情報更新に対応するため、QR コードを用いたウェブページでの配信方式の導入を検討されたい。	エコプラザで配架する資料や展示などに QR コードをつけ、ウェブページから資料等を参照して貰えるよう工夫した。また、エコプラザの案内も詳細はＱＲコードを通してウェブページを閲覧して貰えるようなつくりに変更するとともにエコプラザだよりの紙媒体での配布数も減らすよう見直しを行った。

以　　上

4　目黒区エコプラザの職員態勢等

（１）職員態勢

エコプラザ館長	１名
契約職員	７名（内主任２名）

＊　窓口職員２名及びリサイクルショップの管理担当１名は常時配置するように努め、来訪者サービスの向上を図った。

＊　緊急連絡態勢については、事務局本部を含め職員間の緊急連絡網を定め、緊急事態等に対応する態勢を整えている。

（２）職員研修

研修名	めぐろエコサミット in 2024
主催	めぐろ環境マネジメントシステム研究会
開催日	令和６年 11 月 12 日（火）
開催場所	中目黒ＧＴプラザホール
参加者等	１名
内容	法政大学、東京大学、国士館大学の学生による環境保全活動等についての報告を聞き、学生による活動の具体的な様子を伺った。新鮮な視点で取り組む姿勢が見られ、今後、協会として事業を行う際の参考となった。

研修名	エコプロ 2024 の見学
開催日	令和６年 12 月４日（水）から 12 月６日（金）まで
開催場所	東京ビックサイト
参加者等	７名
内容	日本最大の環境イベントである「エコプロ２０２４」を見学し、現在の環境問題を学び、区民の環境意識の向上とエコプラザ事業のレベルアップに向けて参考となる情報を得ることができた。

研修名	広報研修
開催日	令和７年３月 10 日（月）
開催場所	エコプラザ環境学習室
参加者等	６名
内容	目黒区広報課の職員を講師に招き、目黒区広報手法を学ぶとともに、より効果的なＰＲ手法について職員の理解を深めた。

研修名	職員研修会
開催日	令和７年３月 14 日（金）
開催場所	エコプラザ環境学習室
参加者等	４名
内容	環境情報科学センターの常務理事・技術顧問を招き、今後の協会事業の基本となるカーボンニュートラルの実現に向けた国の取り組みなど、今後の持続可能な社会づくりについて講義を受けた。

研修名	日本環境教育学会未来フォーラム
開催日	令和７年３月 16 日（日）
開催場所	立教大学
参加者等	１名
内容	「環境教育等促進法」改定の状況を踏まえ、東京都内の環境学習施設が持続可能な未来に向けてどのような環境教育、環境実践を促す普及啓発、地域の活動支援などのコーディネート（中間支援）を行っているのか、現状や課題、展望を共有し、今後の展開について聴講した。

研修名	資源プラスチックリサイクル施設の見学
開催日	令和７年３月 21 日（金）
開催場所	進栄化成株式会社
参加者等	２名
内容	エコプラザで収集したペットボトルキャップを受け入れている資源プラスチックリサイクル施設に行き、ペットボトルキャップの選別する技術とリサイクルシステムを見学し情報収集を行った。

（様式2）

令和6年度目黒区エコプラザ指定管理者運営評価委員会で
協議事項となった内容の改善策における実施状況について

1 事業の実施に関する事項

No	内容	改善策 （方向性）	実施状況	
			１１月	２月
1	環境活動団体同士の交流会を継続するとともに、団体とエコプラザの意見交換の場に発展させ、そこで得られた意見や要望を着実に吸い上げ、運営の改善やアイデアに活かされたい。	新型コロナウイルス感染症による行動制限がなくなって１年がたち、各団体の活動が再開傾向にある機会を捉え、交流や意見交換の場を設けるとともに、積極的な参加を促す。そこで得られた内容は今後の運営に活かしていく。	各団体の意見や要望を吸い上げる場としてエコサポーター懇談会やエコライフ交流会を活用し、団体が抱えている問題点や課題を得て、今後の運営に活かしていく。	３月に実施予定のエコライフ交流会にエコサポーター２団体が参加予定。個人の方も参加するので意見や課題を吸い上げていく。
2	児童館での出前講座の参加者数の少なさが課題であり、周知方法の見直しなど参加者を増やす工夫を検討されたい。	出前講座については各実施施設が参加者への周知を行っているが、協会は事前に見本品を展示して講座の内容をＰＲするなど、施設利用者の関心を高める工夫をしていく。	出前講座を実施するにあたり､『バスボムづくり』や『お散歩ワンちゃんづくり』では、事前に見本などを飾ってもらい、施設利用者への参加誘導を行っている。	引き続き事前に見本などを飾ってもらい、施設利用者への参加誘導を行うとともに講座参加者にエコライフの事業をＰＲして、継続的な参加を促す。
3	リサイクルショップの寄付品受付点数や販売点数が減少していること、また、不用品情報提供事業への登録件数が伸びた一方で成約件数が減少し、利用客の固定化も懸念されていることから、施設の周知を含め、さらなる工夫を検討されたい。	リサイクルショップの利用者は東部地区の居住者が中心であることから、寄付品受付点数や販売点数の増加に向けては、南部・西部地区のイベント等の機会を通じて、幅広い地域からの利用に向けたＰＲに努めていく。また、不用品情報提供事業については、メルカリやオンラインオークションの普及により利用者が減少しており事業廃止も含め見直しを検討していく。	リサイクルショップのＰＲについては、協会ＨＰやインスタグラム等のＳＮＳを通じて、さらに東京都環境公社の運営する TOKYO-ecosteps にも登録しエコプラザのＰＲとともに行っている。さらに、イベント開催時にもチラシを配布するなどＰＲを行っている。また、不用品情報提供事業については、令和６年度末の事業廃止に向けたお知らせを開始した。	リサイクルショップのＰＲについては協会ＨＰ・インスタグラム・TOKYO-ecosteps を通じて、さらに、イベント開催時にもチラシを配布するなど引き続きＰＲを行っている。また、不用品情報提供事業については、令和６年末に新規登録受付を終了したため区が推奨しているピアッザなどを案内している。

No	内容	改善策 （方向性）	実施状況	
			１１月	２月
4	環境推進員の年齢層を全世代に拡大するとともに、エコプラザでの事業や講座に若い世代が参加できるような仕組みづくりを検討されたい。	環境推進員養成講座の子ども版である、夏休み応援企画事業の参加者に対する『エコマスター』制度（ポイントカードを作成し、スタンプを一定数集めた場合に認定証または参加賞等を渡す）の実施など、子どもや子育て世代を対象とした事業を展開する。	環境推進員養成講座の子ども版である夏休み応援企画事業『エコマスター』制度を実施し、延参加人数２２８名の参加を得て、『エコマスター』として１７名にメダルを授与した。 今後も春休み応援企画事業の実施に向けて取り組んでいく。	６年度は２名の小学生が環境推進員養成講座に参加した。 ３月の春休みに応援企画事業実施に向けて、「エコマスター」第２弾を準備している。
5	リサイクルから脱炭素へと目黒区エコプラザに求められる役割が拡大する中で、新たな取組みや対応を検討していく際には、区民の生活実態を踏まえ具体的に示されたい。	脱炭素やゼロカーボンに関わる展示や資料作りに努めていくとともに、大学や企業と連携して区民生活に沿ったカーボンニュートラルにつながる出前講座や自由参加できるサロン的な事業展開を進めていく。	企業（パナソニック㈱）とジョイントし『環境にやさしいランタンづくり』を実施した。また、学芸大学木育研究所と連携し、１２月にサロンエコライフ事業を実施する予定。さらに、令和６年度３月に向けて早稲田大学環境ロドリゲスとの連携も模索している。	サロンエコライフ事業を１２月に学芸大学木育研究所と連携し実施した。また３月には早稲田大学環境ロドリゲスと連携し実施準備を進めるなど、多様な団体と事業に取り組む。

2 管理運営に関する事項

No	内容	改善策 （方向性）	実施状況	
			１１月	２月
1	ポストコロナには「コロナ禍前に戻る部分」と「コロナ禍前とは異なった状態になる部分」との両面性があることを踏まえ、ポストコロナでの今後の中長期的なビジョンを示されたい。あわせて、予算決算やアンケート結果などは対前年度のみでなく、コロナ禍以前とも比較されたい。	ポストコロナにおける取り組みについては、協会設立の趣旨に則り、区の環境基本計画を踏まえた 2050 ゼロカーボンシティの実現に向けた積極的な啓発、区民が取り組みやすい実践的な行動の働きかけを進めていく。また、福祉と大きく関わるフードマイレージについても Co_2削減を意識しながら進めていく。各資料のコロナ禍前との比較は、次年度報告で行う。	ゼロカーボンシティの実現に向けた啓発として、エコプラザでの展示を『脱炭素とカーボンニュートラル』として国･東京都･目黒区･エコプラザの取り組みの紹介を行っている。コロナ禍後の生活様式の変化に伴いＳＮＳなどを積極的に活用した多様な情報発信に努めている。	2050 ゼロカーボンシティの実現に向けた積極的な啓発･取り組みとしてイベント参加や出前講座を実施し、引き続きＳＮＳを積極的に活用した情報発信を行っている。 コロナ禍以前との比較については事業報告をまとめる中で確認する。

（様式 2）

3 その他

No	内容	改善策 （方向性）	実施状況	
			１１月	2月
1	「護美アート」などのリソースを用い、脱炭素のデータも取り入れたエントランスの効果的な活用を検討されたい。	事業参加者の協力を得て作成した成果物等をオブジェとして利用し、参加者の意識を高めるとともに、見せ方を工夫し脱炭素やゼロカーボンの意識につなげていくエントランスとしていく。	エコプラザの利用者へ脱炭素やゼロカーボンへの意識啓発の一助として、新たな「護美アート」などの有効活用を工夫し、効果的な活用方法を模索している。	３月の春休みに応援企画事業の「エコマスター」第２弾の中で「護美アート」等の実施に向けて準備している。
2	パンフレット類のペーパーレス化を図るとともにタイムリーな情報更新に対応するため、QR コードを用いたウェブページでの配信方式の導入を検討されたい。	高齢者を中心に一定数の紙資源のニーズもあることも考慮しつつ、パンフレット類をＱＲコードから電子的にアクセスする形に変更していく。	エコプラザでの展示を実施するにあたり、ウェブページの参照を考えてＱＲコードを活用し案内を行った。また、パンフレット類の作成時もＱＲコード使用を考慮していく。	引き続きＱＲコードの活用によるウェブページの参照増を考慮し、エコプラザだよりなどの印刷減を進める。

以　　上

令和６年度目黒区エコプラザ指定管理事業計画体系図

目黒区エコプラザの設置目的（条例第一条）	目黒区エコプラザの設置目的を達成するために行うこととされている事業（条例第３条第１号～第７号）	事業計画上の個別実施事業
資源及びエネルギーの有効利用等環境への負荷の低減に関する普及啓発及び環境への負荷の低減に関する区民等の自主的活動の支援を行うことにより、地域及び地球の環境保全に資するため、目黒区エコプラザを設置する。	（第１号事業）講座及び講習会等を実施すること	1　エコプラザ講座等の開催 2　出前講座の実施
	（第２号事業）資料を収集し、利用に供すること	1　情報室の運営 2　エコプラザでの普及活動 3　SNS での情報発信
	（第３号事業）不用物品を再生すること	1　「何でもつくり隊」活動支援 2　修理コツコツ講座 3　資源回収拠点事業
	（第４号事業）不用物品の販売又は交換の場を提供すること	1　リサイクルショップの運営 2　不用品情報提供事業 3　子ども用品の交換会
	（第５号事業）環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること	1　環境推進員等ステップアップ講座の開催 2　環境保全活動団体の支援
	（第６号事業）エコプラザの施設を利用に供すること	1　環境学習室の活用
	（第７号事業）区長が必要があると認める事業	1　環境推進員養成講座の実施 2　エコサポーターの活動支援 3　各種イベントへの参加

令和６年度（2024 年度）目黒区エコプラザ指定管理者事業報告

１　条例第３条第１号事業：講座講習会等を実施すること

（１）　エコプラザ講座等の開催

ア 「自然エネルギーを体感しよう」

<table>
<tr><td>実施日</td><td>11 月 24 日(日)　10:00～15:00</td><td rowspan="2">主な経費及び参加費</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>「エコまつり・めぐろ 2024」田道広場公園</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>約 480 人</td><td rowspan="3">委託費
50 千円
参加費
ー</td></tr>
<tr><td>講師等</td><td>NPO法人　ソフトエネルギープロジェクト</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>「エコまつり・めぐろ2024」で、自然エネルギー（再生可能エネルギー）の啓発としてソーラーカーの試乗と手回し発電で動くグッズ体験を実施した。ソーラーカーの試乗では電気をつくる・たくわえる・つかうを知って貰うことができ、手回し発電では自分でエネルギーをつくる体験で、自然エネルギーの力を体感して貰うことができた。</td></tr>
</table>

イ　エコおもちゃで遊ぼう

<table>
<tr><td>実施日</td><td>11 月 24 日(日)　10:00～15:00</td><td rowspan="2">主な経費及び参加費</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>「エコまつり・めぐろ 2024」田道ふれあい館内</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>約 350　人</td><td rowspan="2">ー</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>「エコまつり・めぐろ2024」で目黒区エコプラザ PR ブースとして紙パックやダンボール等で作ったおもちゃで遊べるコーナーを設置した。</td></tr>
</table>

ウ 夏休み親子バス見学会

<table>
<tr><td>実施日</td><td>7 月 30 日(火)　9:00～16:00</td><td rowspan="2">主な経費及び参加費</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>森ケ崎水再生センター、かわさきエコ暮らし未来館</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>24 名(大人　10 人　子ども　14 人)</td><td rowspan="3">使用料及び貸借料
106 千円

参加費収入
10 千円</td></tr>
<tr><td>講師等</td><td>森ケ崎水再生センター職員、かわさきエコ暮らし未来館職員</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>夏休みの自由研究のテーマとなるよう、バスで行く見学会を実施した。水再生センターでは下水処理のしくみについて学んだあと施設を見学し、エコ暮らし未来館では地球温暖化対策や太陽光発電などの再生可能エネルギーと3Rなどの資源循環について、体験学習を行った。</td></tr>
</table>

エ DIY 子ども工作教室

<table>
<tr><td>実施日</td><td>7 月 20 日(土)　10:00～11:30　13:30～15:00</td><td rowspan="2">主な経費及び参加費</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>目黒区エコプラザ　環境学習室</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>午前 9 名（大人 4 名、子ども 5 名）午後 8 名（大人 4 名、子ども 4 名）</td><td rowspan="3">消耗品費
11 千円
諸謝金
5 千円
参加費収入
2 千円</td></tr>
<tr><td>講師等</td><td>平田　良氏、小林　克彰氏</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>小学生に工作を体験してもらうことにより、道具の大切さや手作りすることの良さに慣れ親しむことを目的に開催した。参加者には講師から工具の扱い方を学び、楽しみながら安全に工作に取り組むことができ、もの作りへの興味や理解を深めてもらうことができた。</td></tr>
</table>

(2) 出前講座（学校・児童館等）の実施

ア　小学校への出前講座

概　要		主な経費
	ごみ・リサイクルについて授業で学ぶタイミングとなる4年生を対象に案内を送付している。今年度は新たに企業との連携としてパナソニックの「あかりの教室」をメニューに加えて案内を行った。また、大学生を講師として出前講座のメニューに加え新たにチラシを作成した。	印刷製本費 260 千円

（ア）　小学校４年生対象出前講座　　参加者計 367 人

実施月日	小学校名・学年	内容	参加人数
7月16日(火)	五本木小学校4年生	パナソニックあかりの教室	72 人
7月16日(火)	五本木小学校4年生	資源とごみの分け分け	72 人
2月15日(土)	鳥森小学校4年生	めぐろ eco エコ大作戦	78 人
3月4日(火)	田道小学校4年生	めぐろ eco エコ大作戦	78 人
3月12日(水)	五本木小学校６年１組	パナソニックあかりの教室	35 人
3月12日(水)	五本木小学校６年２組	パナソニックあかりの教室	32 人

（イ）　目黒区エコプラザの見学等　　参加者計 137 人

実施月日	学校名・学年	内容	参加人数
11月19日(火)	八雲小学校4年生・6年生	八雲 Deco フェス見学 ・アドバイザー	130 人
11月20日(水)	郁文館中学校2年生	見学・体験	7人

（ウ）　「めぐろｅｃｏエコ大作戦」配布　　配布数計 932 冊

施設名(イベント名)	配布数	施設名(イベント名)	配布数
五本木小学校４年	75	向原住区センター児童館	10
東根小学校４年	127	平町児童館	40
鳥森小学校４年	84	目黒区民センター児童館	15
田道小学校４年	81	油面住区センター学童保育	40
八雲小学校	150	東山学童保育クラブ	60
五本木小学校６年	70	緑が丘学童保育クラブ	40
南学童保育クラブ	30	エコまつり・めぐろ２０２４	100
東山児童館	10		

パナソニック「あかりの教室」

郁文館中学校校外学習

イ　児童館への出前講座

概　要		主な経費
	児童館等に出向き、子育てをする中で楽しくエコライフが送れるきっかけとなるよう講座を実施した。エコプラザへの来館者の増加につながるよう、エコプラザPRも出前講座の中で行った。その際のアンケートでは、「目黒区エコプラザを知らなかった」という方が多数おり、エコプラザの周知につながった。	—

参加者計 157 人

	実施日	施設名等	事業名等	対象	内容	参加人数
1	6 月 18 日(火)	東山児童館	乳幼児のつどい	0歳～未就学児と保護者	エコ工作「箱カメラ」	3 組 6 人
2	6 月 26 日(水)	向原住区センター児童館	乳幼児のつどい	0～3歳児と保護者・小学生	バスボム作り	8 組 18 人
3	7 月 6 日（土）	油面住区センター児童館	乳幼児のつどい	1 歳～5 歳児と保護者	バスボム作り	7 組 16 人 小学生 5 人
4	8 月 2 日（金）	平町児童館		乳幼児以上対象	バスボム作り	11 人
5	9 月 4 日(水)	五本木住区センター児童館	乳幼児のつどい	0歳児から5歳児と保護者	バスボム作り	8 組18人
6	10 月 10 日(木)	平町児童館	乳幼児クラブ	2．3歳児と保護者	エコ工作「箱カメラ」	7組 14 人
7	11 月 15 日（金）	目黒区民センター児童館	乳幼児クラブ	0歳～3歳児と保護者	エコ工作「箱カメラ」	9組 18 人
8	12 月 23 日（月）	平町児童館	3R講座	小学生対象	資源とごみの分け分けゲーム	13 人
9	1 月 28 日(火)	八雲住区センター児童館	乳幼児のつどい	2024年4月以降に産まれたベビーと保護者	バスボム作り	19 組 38 人

ウ　学童保育クラブへの出前講座

概　要		主な経費
	「学童保育クラブ」に向けての出前講座の案内を46か所に送付。希望に合わせて出前講座を実施した。	—

参加者計 148 人

	実施日	学童保育名	内容	参加者数
1	8 月 22 日(木)	南学童保育クラブ	バスボム作り	17 人
2	12 月 4 日(水)	油面住区センター学童保育クラブ	資源とごみの分け分けゲーム	24 人
3	2 月 17 日(月)	東山学童保育クラブ	資源とごみの分け分けゲームバ	42 人
4	2 月 19 日(水)	東根学童保育クラブ	バスボム作り	30 人
5	3 月 27 日(木)	緑が丘学童保育クラブ	資源とごみの分け分けゲーム	35 人

エ　その他の出前講座

	子育て交流ひろば0123
実施日	10 月 27 日(日)　10:00～13:00
会場	総合庁舎　大会議室
参加者数	389 人
内容	「エコおもちゃであそぼう」
概　要	子育て交流ひろば0123は、0歳から3歳児の親子を対象に、子育てグループが情報提供の場として開催しているイベント。目黒区エコプラザは、紙パックや段ボールを使ったおもちゃで遊べるコーナーを担当。参加している親子に向けて、目黒区エコプラザの紹介とxChange～子ども服の交換会の PR、紙パックの EV 車で自然エネルギーの紹介などを行った。

２　条例第３条第２号事業：資料を収集し、利用に供すること

（1）　情報室の運営

概要	情報室を利用される方の年齢層や季節に応じて、エコライフに関する情報のパネル展示、ミニ講座、ちらしの配布などを行い、情報室の利用の促進を図った。また展示と連動した本を紹介するなど、図書の活用を促した。	主な経費 印刷製本費　223 千円 消耗品費　166 千円

ア　エコライフに関する情報の提供

ごみの分別方法、重曹・クエン酸を使った環境にやさしい掃除方法、エコプラザのPRちらし等を配布すると共に、緑のカーテン普及のために、次のとおり種の配布等を行った。

事業名	実施期間等	内　容
緑のカーテンを育てよう！	4 月 12 日(金)～ 5 月 24 日(金)	ふうせんかずらと朝顔の種を配布。併せて、ゴーヤやへちま等つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法や、収穫できたへちまの実をスポンジに加工する方法について紹介した冊子を配布し、情報提供を行った。

イ　展示コーナーの設置

パネルや実物を活用した展示コーナーを設け、環境や３Ｒに関する情報提供、エコプラザで行っている事業の展示を行った。(詳細は 13 頁エコプラザでの普及啓発にあり)

ウ　図書の提供

環境に関する図書・雑誌を充実させると共に、展示テーマと連動させ、配架を工夫した。

実施月	テーマ	内　容
4月～6月	土づくりから楽しく植物を育ててみよう！	生ごみ堆肥や土づくり、つる性植物を緑のカーテンとして育てる方法を学ぶことが出来る図書を紹介。
7月～8月	身近な生きものや植物を観察しよう！	生きもの観察をすることや自然に触れることが身近な場所でもできるヒントとなるような図書を紹介。

9月～ 10月	家族で考える「SDGs」と 「環境活動」	「SDGs」や「環境活動」について家族で学びながら考えてもらうきっかけとなるような図書を紹介。
11月～ 12月	見てみて試して 器とお洋服のお繕い	自分自身で衣類や食器を繕う方法を学び、リメイクのアイディアを得られるような図書を紹介。
1月～ 3月	環境にやさしい食べ物は 土づくりから	家庭で取り組むことのできる土づくりや野菜づくりを紹介する図書と併せて、農薬等の環境問題に触れた図書を紹介。

エ　エコプラザの周知・PR

事業名	内容
エコプラザだより	月1回発行の目黒区エコプラザの情報誌である。地区サービス事務所・住区センター・図書館・社会教育館等で掲示・配布を依頼。（毎月ポスター約 280 枚・チラシ約 800 部発行）
わくわくエコライフカレンダー	リサイクルショップの収益金を活用し、エコライフめぐろ推進協会の事業紹介などを兼ねたカレンダーを作成。来館者等に配布。（発行部数：1500 部）

（２）エコプラザでの普及啓発

概要		主な経費
	エコプラザを訪れた区民が気軽に学習し、成果を持ち帰れるよう、来場者層に合わせたミニ学習会(サロン・エコライフ)や展示を行った。また、情報室内にゲームやカルタ等の遊びを通して環境について考えることができる環境学習体験コーナーを設置する。	諸謝金 ５千円

ア　テーマ展示（図書コーナー及び階段下展示コーナー）

実施月	テーマ	内　容
4月	・知っていますか？川の汚れる原因を ・きれいな海は街から	・都市河川の汚れの原因のひとつであるオイルボールの実物を展示し、汚れた水を下水道に流すことへの影響などをクイズ形式で紹介した。 ・三番瀬海浜公園(東京湾)の砂浜で採取した砂を展示し、海洋汚染問題について知ってもらう展示をした。
5月 6月	棉(わた)・綿(わた)・木綿(もめん)・衣類(いるい) (階段下緑のカーテンも展示しています)	・植物である棉(わた)を育てて、収穫した実から綿(わた)と種をより分け（綿くり)、綿打ちを行い、紡ぎ、織られて木綿となり、衣類となるまでの工程を紹介し、さらに着なくなった衣類の活用方法について問いかける展示とした。※期間中には子供服の交換会を開催。
7月 8月	エコプラザ de 自由研究のヒントを見つけよう！	・夏休みに合わせて、自由研究のテーマ(リサイクル、SDGs、食品ロス、プラスチックごみ、気候危機、水・自然)別に図書を探せるように、情報室の図書を配置し紹介した。また、目黒区の環境情報をまとめたコーナーを設置し、関連する資料を配布するとともに、QRコードの案内をつけてWebページからも閲覧できるようにした
9月 10 月	脱炭素につながる新しい豊かな暮らしを創る国民運動	・目黒区のカーボンニュートラル宣言、東京都のデコ活に関する、カーボンニュートラル、脱炭素、再生エネルギーについて紹介をした。自分たちにできることを考えてもらう情報を提供した。

11 月 12 月	森林のはたらき・木材のはたらき	・森林が及ぼす地球環境への効果やメリットを紹介しながら、温暖化、自然災害防止、生物多様性の保持、産業の発展などに触れる。 ・木材利用は脱プラスチックや木質バイオマス活用につながるため紹介する。 ・12月開催サロン・エコライフの木育研究所とのコラボレーションでも木の廃材利用ワークショップのため、連携展示とした。
1月 2月	サステナブルファッション 古布を活かしたつるし飾り	・サステナブルファッションの取組の動向を伝え、来館者に具体的行動を呼びかけた。 ・目黒区エコプラザで活動を行っている「目黒つるし飾り」の会が作成した、古い着物や衣類・布等を活かしたつるし飾りの展示を行った。
3月	ダンボール ・目黒区の下水道の仕組み(川をきれいにするには)	・ダンボールのリサイクルの仕組みや、回収の仕方、ダンボールを使った工作の本の紹介。 ・ダンボール工作の展示 ・目黒区の下水道の仕組みから目黒川はなぜ悪臭が発生するのか？その理由と悪臭を防ぐための対策を提案。

イ　サロン・エコライフ　　参加者計 113 人

講座名	実施日	内容	参加人数
環境にやさしいランタンづくり	8 月 7 日(水)	Panasonic 株式会社から講師を迎え講座を行った。太陽光パネルと蓄電池がついた LED ランタン工作を行い、電気のしくみや省エネルギーについて学んだ。	13人
「紙パック de 紙すき体験」	8 月 9 日(金)	夏休みの自由研究の応援企画として、紙パックを使った紙すきでハガキを作る体験講座を行った。ボランティアとして Reborn めぐろの参加を得た。	62人
不良品が大変身！割りばしでエコクリスマスリースづくり	12 月 21 日(土)	東京学芸大木育研究所メンバーを講師として迎え、捨てられてしまう不良割りばしを使ったクリスマスリースワークショップを開催。木に触れ、木材やそれをとりまく環境について学ぶ機会を提供する。	11人
「紙袋や包装紙でクリスマスツリーをつくろう！」	12 月 21 日(土)	紙袋や包装紙、毛糸など身近にある不用品を使って、クリスマスツリーを作る。シールやスパンコールで飾り付けをしてオリジナルのツリーを作れた。	18人
カスタネットの廃材を再利用～魚のストラップを作ろう！	3 月 26 日(水)	早稲田大学の学生サークル環境ロドリゲスを講師に、捨ててしまうカスタネットの廃材とサケのウロコを再利用して魚のストラップを作り、アップサイクル・リサイクルについて学んだ。	9人

木育研究所の学生と参加者

早稲田大学の学生と参加者

ウ　環境学習体験コーナー

実施月	テーマ	内　容
9月 10月	昔遊びコーナー	昔からある「けん玉」「あやとり」「ダルマ落とし」など昔遊びを通して電気を使わない遊びを体験することで、親子のコミュニケーションの場とする。
11月 12月	『CN2050脱炭素ボードゲーム』で遊ぼう！	1人から8人で体験できる『CN2050脱炭素ボードゲーム』。みんなで協力してCO_2を減らすゲーム。
12月 1月	『もったいないばあさんかるた』で遊ぼう！	絵本で大人気のもったいないばあさんのかるたで小さい子から大人まで楽しめる。
1月 2月	『服育クロスワード』で遊ぼう！	㈱チクマの服育クロスワードを A1 のパネルにして大型版のクロスワードを体験できるよう設置。時間のない人には持ち帰りのできるクロスワードを配布した。
3月 4月	『みずのじゅんかん』を学ぼう！	河川環境財団が実施している『プロジェクトWET』のエデュケーターの資格を持つ職員が2名在籍しているため、資格保持者だけが使えるアクティビティを使用し、水の粒になって水循環を学ぶ『驚異の旅』と、小さい子でも分かりやすい地球上の陸と海の割合が3:7であることを地球儀のボールを使って体感する『青い地球』というアクティビティを設置した。

エ　打ち水大作戦 in 田道ふれあい館

実施日	第 1 回:7月25日(木)、第 2 回:8月24日(土)　16:00～
会場	田道ふれあい館入口前
参加者数	第 1 回:45 人、第 2 回:55 人　　計 100 名
概　要	夏のヒートアイランド対策の啓発として「何でもつくり隊　つくりなおしカフェ」や「高齢者センター納涼祭」に合わせて打ち水を実施し、多くの方に参加いただけた。

オ　その他（図書コーナーの活用・窓口での普及啓発）

事業名	実施期間	内容
エコおもちゃ設置	通年	紙パックや段ボールで作成したエコおもちゃで遊べるコーナーを設置した。
夏休み向け図書紹介	7 月 4 日(木) ～8 月 31 日(土)	夏休みの自由研究向けの図書をテーマ別に展示し、学習のサポートを行った。
新着図書紹介	4 月 1 日(月) ～継続中	新しく入った図書を紹介した。

（３）ＳＮＳでの情報発信

	インスタグラムでの情報発信
実施期間	令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)
概要	「環境保全・環境教育・環境学習等」に関連する画像等を配信することで、Instagram 利用者等の環境意識と行動への意欲を高め、誰もが環境保全活動に取り組める機会を提供し、環境保全等の推進を図ることを目的とする。
	投稿数 102件　令和6年度末フォロワー数210名

３　条例第３条３号事業：不用物品を再生すること

（1）「何でもつくり隊」活動支援

事業名	何でもつくり隊	主な経費
概要	古着・古布・残り毛糸等を使った物づくりの講座を定期的に環境学習室で開催した。 各講座の運営に協力している活動団体や講座の参加者が、それぞれの地域などで活動を広められるよう、協会が支援する人材育成の場としての事業である。	―

ア　定例開催

参加者計 851 人

講座名	実施日	内容	参加人数
毛糸 de ボランティア	毎月第 1 火曜日 13:30～15:30	残り毛糸を活用してひざ掛けやクッションを作り、福祉施設等に寄贈している。 今年度は社会福祉協議会にクッションを 4 枚、東部ふれあいフェスティバルの来館者へひざ掛け 1 枚、障害者就労支援センターにクッションとひざ掛けを各3枚と西郷山グリーンカフェにひざ掛け20枚を寄贈した。	100 人
古布 de 小物作り	毎月第 2 火曜日 13:30～15:30	古布を活用して小物を作る。 協力団体:布で遊ぼう	163 人
古布でさき織り	毎月第 3 火曜日 13:00～15:30	古布を裂いて、織り機を使って作品を作る。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	83 人
エコ布ぞうり	毎月第 4 火曜日 13:30～15:30	古布を活かして布ぞうりを編む。 協力団体:布ぞうり・さき織りサークル	92 人
つくりなおしカフェ	毎月第 1･4 木曜日 13:30～15:30	着物やＹシャツ等の素材を活かしながら普段に着られるものへリメイクするとともに、丁寧な暮らし方を考える。 協力団体:もめんむすび	413 人

イ 懇談会

講座名	実施日	内容	参加人数
「何でもつくり隊」懇談会	4月25日(木) 10:00～12:00	各団体の代表者が集まり、活動状況報告及び今後の目標について発表するなど意見交換を行った。昨年に続き「材料交換会」を開催することにし、またエコまつりで行うスタンプ・クイズラリーの景品製作を依頼した。	全4グループの各代表者

ウ　材料交換会

講座名	実施日	内容	参加団体数
「何でもつくり隊」材料交換会	9月5日(木) 10:00～11:00	「何でもつくり隊」の各活動で余って活用しきれていない材料を持ち寄ってもらい、グループ間で交換を行った。	3グループの各代表者

エ　手作りマーケット

イベント名	実施日	内容	参加団体数
手作りマーケット	1月 18 日(土) 10:00～15:00	「何でもつくり隊」から「もめんむすび」と「布ぞうり・さき織りサークル」がふれあい館まつりに出店し、作品の販売と活動の紹介を行った。	2グループ

(2) 修理コツコツ講座

ア 包丁研ぎ編

<table>
<tr><td>実施日</td><td>第 1 回　11 月 29 日(金)①13:10～14:00 ②14:20～15:10
第 2 回　11 月 30 日(土)①9:30～10:20 ②10:40～11:30
第 3 回　 2 月 15 日(土)①13:20～14:00 ②14:30～15:20</td><td>主な経費及び参加費</td></tr>
<tr><td>会場</td><td>目黒区エコプラザ　環境学習室</td><td rowspan="4">諸謝金(各日)
10 千円
参加費収入
第 1 回 12.0 千円
第 2 回 10.5 千円
第 3 回 12.9 千円</td></tr>
<tr><td>参加者数</td><td>第 1 回:24 人、第 2 回:23 人、第 3 回:24 人　　計 71名</td></tr>
<tr><td>講師等</td><td>飯野　光男　氏、平田　良　氏</td></tr>
<tr><td>概　要</td><td>切れなくなった包丁の砥ぎ方を習って自分で砥いでみることにより、物を大切にすること、長持ちさせることの大切さを実感できる機会を提供した。</td></tr>
</table>

イ　壁紙の補修編

<table>
<tr><td>実施日</td><td>2 月 26 日(水) 13:30～15:30</td><td rowspan="2">主な経費及び参加費</td></tr>
<tr><td>会　場</td><td>目黒区エコプラザ　環境学習室</td></tr>
<tr><td>参加人数</td><td>15 人</td><td rowspan="3">諸謝金
20 千円
参加費収入
4.5 千円</td></tr>
<tr><td>講 師 等</td><td>吉田　秀樹　氏</td></tr>
<tr><td>概　　要</td><td>参加者に壁紙補修の方法を習得してもらう講座。壁紙のある壁面構造や特徴を知り、実習から補修のコツを学び自宅で応用することで、居住環境を整え、長く良い状態に住まいを保つことを提案。建材の廃棄削減等にもつながる。</td></tr>
</table>

手作りマーケット

修理コツコツ講座～壁紙の補修編～

（3）資源回収拠点事業

概　要	行政回収の拠点として紙パック・小型家電（9品目）・リチウムイオン電池等を、また行政回収の対象にならない資源について、次のとおり協会が独自に回収し資源回収の普及啓発に努めた。	主な経費 負担金 11 千円

回収物	衣類	ペットボトルキャップ	廃食油	インクカートリッジ	使い捨てコンタクトレンズの空ケース
回収量	8,510kg	470kg	575ℓ	73.15kg	47.41kg
売却益	37,444 円	5,170 円			
再利用内容	再生事業者が古着として販売する。※2/5 以降は衣類回収プロジェクトに参加	再生事業者が資源化しごみ箱やスーパーのカゴ、ボールペン等になる。	再生事業者がバイオ燃料としてリサイクルする。	破砕・選別後に再生プラスチック化し、プラスチック製品等へ再利用される。	粉砕し、再生ポリプロピレン素材として、様々なリサイクル製品になる。

４　条例第３条第４号事業：不用物品の販売又は交換の場を提供すること

（1）リサイクルショップの運営

概要	区民等から寄付品を頂き販売した収益金でエコまつりや環境講演会など、区民へ還元する環境保全活動に活用をしている。ショップの運営は、主にボランティアにより行っている。 ※利用実績は 25 頁のとおり。	主な経費 費用弁償 3,663 千円

ア　リサイクルショップボランティア研修

実施日時	12 月 4 日(水)～12 月 6 日(金)	主な経費
実施場所	東京ビッグサイト【東ホール】	費用弁償 38 千円
参加人数	19人	
概要	日本最大の環境イベントである「エコプロ2024」を見学し、現在の環境問題を学び、環境意識の向上とレベルアップを図り、今後のエコライフ活動の取り組みに役立てる。	

イ　リサイクルショップの着物セール

実施日時	10 月 13 日（日）10:00～15:00	主な経費
来場人数	着物セール　78 人	当日の売り上げ 着物セール 11 千円
概要	区民まつりに参加するにあたりショップボランティア及び当日ボランティアの協力により着物セールを開催した。当日は臨時開館でリサイクルショップもオープンした。	

（２）不用品情報提供事業

概要	家庭で不用になった品物を活かす方法として、「譲りたい方」と「欲しい方」を仲介する仕組みをシステム化し、エコプラザで情報を提供している。なお、ネットオークション等の普及により役目を終えたものと捉え、令和6年度をもって終了とした。 ※利用実績は、25 頁のとおり。	主な経費 ―

（３）子ども用品の交換会

実施日時	① 6 月 6 日(木)～6 月 8 日(土) 10:00～16:00: ② 1 月 30 日(木)～2 月 1 日(土) 10:00～16:00	主な経費
実施場所	目黒区エコプラザ情報室	―
参加人数	① 88 人 ② 160 人	
概要	不用となった子ども服にエピソードタグをつけ交換を行う『xChange(エクスチェンジ)』を開催した。子ども服を選び、エピソードタグにメッセージをつけて持ち込むという作業を通して、その物に対する思い出や物の価値を見出し、物を大切にする心を育んで貰うことが狙いである。持ち込まれた子ども服は小さいサイズが多かったため、これから出産を控える方には母子手帳の提示で持ち帰れるようにした。	

5 条例第３条第５号事業：環境への負荷の低減に関する活動を行う団体を育成すること

（１） 環境推進員等ステップアップ講座の開催

実施日	2 月 22 日(土) 10:00～12:30	主な経費
実施場所	目黒区エコプラザ環境学習室（中止）	―
概要	環境推進員養成講座を修了し、めぐろエコサポーター制度に登録している方に対し、環境保全活動の実践に役立つ知識をさらに深めることの出来る機会とすることを目的に開催している。今年度は、廃食油の石けん作りと目黒区が取り組んできた環境保全の歴史を振り返る講座を実施する予定あったが、本年度は諸事情により中止とした。次年度中に代替企画を実施する予定。	

（２） 環境保全活動団体の支援

	エコライフ交流会への参加	主な経費
実施日	3 月 8 日(土) 13:30～15:30	―
実施場所	田道住区センター第二・第三会議室	
参加人数	23 人	
概要	協会事業「エコライフ交流会」の中で発表した 4 団体と参加者 13 人の意見交換会で目黒区エコプラザ職員4名がファシリテーターとして参加。	

6 条例第３条第６号事業：エコプラザの施設を利用に供すること

（１）環境学習室の活用

事業名	環境学習室の利用提供	主な経費
概要	エコプラザ登録団体が活動の場として利用するとともに、指定管理事業などの講座、講習会の会場とした。 ※利用実績は、25 頁のとおり。	消耗品費 5 千円

7　条例第３条第７号事業：区長が必要があると認める事業

（１）環境推進員（エコサポーター）養成講座の実施

私たち一人ひとりの行動が、地球規模で起こっている環境問題に深く影響している。自分にできる環境活動を始めるきっかけづくりのための講座を、過年度受講者による企画委員会で検討されたカリキュラムにより連続講座で実施した。

概要	地域で環境への負荷の軽減に関する活動を行う人材を育成することを目的として、養成講座等を実施した。 今期（15期）養成講座修了者12人には、当協会理事長名で修了証が授与された。修了者がめぐろエコサポーター登録し、翌年に環境保全活動を実践し、「環境推進員登録申請書」を提出すると、当協会から「環境推進員登録証」を交付する。 令和6年度末累計登録者 環境推進員 31 人、エコサポーター134 人	主な経費 諸謝金 95 千円 費用弁償 110 千円 消耗品費 5 千円

ア　養成講座企画運営委員会　（人数は委員のみ）

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	4 月 20 日(土)	講座の概要・目的・実施方法の確認、年間計画の確認、委員会の進め方について、講座テーマの検討	5人
第2回	5 月 25 日(土)	講座内容の検討、講座テーマ決定	6人
第3回	6 月 15 日(土)	講座全６回の内容決定	6人
第4回	7 月 6 日(土)	講座全６回の内容・日程の決定 各回のテーマ・役割分担の決定 講座(第 1 回)の打合せ	7人

イ　環境推進員（エコサポーター）養成講座　（人数は受講者のみ）

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	9 月7日(土)	オリエンテーション 講座の目的・取り組み方・修了後等のガイダンス、自己紹介、講義と目黒川ウォーキング（講師：新津紅氏）、目黒川舟入場での野鳥観察	13 人
第2回	9 月 28 日(土)	「プラスチックごみを考える」 施設見学（京浜島リサイクルセンター）、DVD「プラスチックごみ」の視聴、意見交換	16 人
第3回	10 月 26 日(土)	「衣類はどこへ？」 動画「クローゼットの中の怪物」の視聴、グループワーク「自分や家族の着なくなった服を手放す方法」について、エコプラザの衣類回収とリサイクルショップの見学	13 人
第4回	11 月 16 日(土)	「フードロスを考える」 映画「もったいないキッチン」ダイジェスト版視聴、講義「スーパーマーケットの食品ロスを中心とした環境への取り組み」（講師：株式会社東急ストア）、グループワーク「我が家の食のもったいない」について	14 人
第5回	12 月 7 日(土)	グループ討議：「さぁ、仲間と始めよう！」	13 人
第6回	12 月 14 日(土)	グループ発表と意見交換、修了証授与、修了後の活動等の案内、修了生が立ち上げた活動団体の紹介など	13 人

（２）エコサポーターの活動支援

環境推進員養成講座を受講しめぐろエコサポーター制度に登録した者に対し、講座・講習会の開催やボランティア募集等の情報提供、団体活動を行う際の相談、広報のための印刷機使用等の支援を行う。

ア　めぐろエコサポーターへの情報提供

毎月1回と臨時号2回の年 14 回、講座やイベント等のお知らせメール(メールのない方には郵送)を行った。

イ　めぐろエコサポーター専用ページの活用

エコライフめぐろ推進協会ホームページ内のめぐろエコサポーター専用ページ(パスワード有)の編集及び管理を行った。

コーナー名	内容
めぐろエコサポーター通信バックナンバー	めぐろエコサポーター通信創刊号から最新号までのバックナンバーを見ることが出来る。
今月のお知らせ	毎月メールや郵便で送っているお知らせの添付資料をホームページ上でも見ることが出来るようにした。
エコサポみんなの掲示板	エコサポーター同士が情報交換を出来る場として、ホームページ上に掲示板を作成、職員からもメッセージや情報を提供できる

ウ　めぐろエコサポーター通信編集部会（人数は編集部員のみ）

(ア)めぐろエコサポーター編集会議の開催

回数	実施日	内容	出席人数
第1回	5 月 24 日(金)	年間計画、役割分担、第 15 号の企画	2 人
第2回	6 月 17 日(月)	第 15 号の企画決定	2 人
第3回	8 月 15 日(木)	衣類回収プロジェクト(不動住区センター)取材・まとめ	2 人
第4回	10 月 22 日(火)	第 16 号の企画、今後の編集部会にいついて	2 人

(イ)めぐろエコサポーター通信の発行

発行号	発行日	内容
第 15 号	11 月1日(月)	特集　めぐろ衣類回収プロジェクト コラム　公園の街でのつぶやき
第 16 号	3 月 28 日(金)	特集　エコまつり・めぐろ2024 エコサポーター in エコまつり2024 めぐろサクラ再生プロジェクトを知っていますか？

環境推進員養成講座
第３回グループワークの様子

第 15 期環境推進員養成講座修了生

（3）めざせ！エコマスター

実施日	夏休み:7 月 20 日(土)～8 月 31 日(土)、春休み:3 月 21 日(金)～4 月 5 日(土)
会場	目黒区エコプラザ
参加者数	夏休み:228 人(エコマスター17 人)、春休み:38 人(エコマスター26 人)
概　要	環境推進員養成講座の子ども版として実施。子どもたちが繰り返し目黒区エコプラザに訪れ環境問題を学んで行くことでシールを貯め、シールをいくつか貯めるとエコマスターとして認定する。 ア　環境月間や夏休みなど期間を決めて実施する。 イ　クイズラリーやお手伝い大作戦(資源をお手伝いで子どもが持ってくる)などのイベントや講座・講習会の参加者などを対象に専用用紙にシールを貼り、参加の数によって参加賞やエコマスター認定メダル(間伐材)を渡す。

（4）各種イベントへの参加

ア　目黒区民まつり参加

実施日	10 月 13 日（日） 10:00～15:00	主な経費
会場	目黒区エコプラザ情報室・リサイクルショップ	会議費 2千円 当日の売上 がらくた市 6 千円 おもちゃくじ 6 千円
概要	当日は、目黒区エコプラザとリサイクルショップの周知を目的として臨時開館した。情報室図書コーナーでは、ショップの在庫となっていた食器や置物をがらくた市で販売した。また、ショップランティア有志によるおもちゃくじも大好評で多くの親子連れが参加した。	

イ　自由が丘住区まつり

実施日	10 月 14 日（月・祝） 11:00～15:00	主な経費
会場	自由が丘住区センター及び熊野神社子どもひろば	—
参加人数	約 250 人（クイズ参加者 34 人）	
概要	自然エネルギー（手回し発電・風力発電・太陽光発電）を動力とした玩具に触れてもらい、エネルギーを作るための労力などを体験してもらい、そこから、私たちの暮らしの中で使っている化石燃料から出る二酸化炭素排出と地球の温度上昇のことについて伝えた。またクイズをとおし、二酸化炭素を減らすために私たちに何が出来るのかについて啓発を行った。	

ウ　油面住区まつり

実施日	10 月 20 日(日) 10:00～14:00	主な経費
会場	目黒区立油面小学校　校庭	—
参加人数	約 500 人	
概要	油面住区まつりの来観者に「脱炭素につながる未来」「自然エネルギーを体験しよう」をテーマに、地球温暖化のクイズ、手回し発電や自然エネルギーで動くおもちゃを体験して、エネルギーの大切さを知り考えるきっかけを伝えた。	

エ　第６１回目黒区商工まつり（目黒リバーサイドフェスティバル 2024）

実施日	11 月 9 日(土)、10 日(日)　10:00～16:00	主な経費
会場	目黒区区民センター	―
参加人数	9 日約 400 人、10 日約 300 人	
概要	「自然エネルギーを体感しよう！」をテーマに出展。当日は太陽光や手回しなど、自然エネルギー動力のミニカーや風車で、子どもたちに遊びながら、エネルギーを作ることを体験してもらった。 「気候変動を知る・学ぶ」をテーマにしたクイズでは2日間で 127 人が参加、二酸化炭素排出と地球温度上昇について考えてもらう機会を得ることができた。	

オ　すげかりフェスティバル

実施日	11 月 10 日(日)　10:30～14:30	主な経費
会場	菅刈公園	―
参加人数	約 130 人	
概要	自然エネルギーを動力とした玩具に触れてもらい、エネルギーを作ることの大変さを体験してもらった。そこから、暮らしの中で使っている化石燃料から出る二酸化炭素排出と地球の温度上昇のことについて伝え、またクイズでは 33 人が参加、二酸化炭素を減らすために私たちに何が出来るのかについて啓発を行った。クイズの後には、暮らしの中でできる温暖化対策等の資料を配布した。	

カ　東部ふれあいフェスティバル

実施日	11 月 16日(土)　13:00～15:30
会場	下目黒住区センター
参加者数	約 200 人
内容	「目黒区エコプラザの紹介」「インスタグラム・イベント等の案内」
概　要	東部地区にある施設や町会・団体等が区民に向け活動や取り組みを紹介し知って活用して貰うことを目的で実施。エコプラザの施設紹介やインスタグラム・「エコまつり・めぐろ2024」・講演会等の周知を行った。

キ　田道ふれあい館まつり

実施日	1 月 18日(土)　10:00～15:00	主な経費
会場	目黒区エコプラザ情報室	―
参加人数	約 320 人	
概要	田道ふれあい館の事業者が地域の利用者への感謝を込めて開催している「田道ふれあい館まつり」に参加。目黒区エコプラザでは、ソーラーパネルで充電した電力を使った「ソプラノコンサート」や日用雑貨品などを手頃な価格で販売する「がらくた市」、「何でもつくり隊」の2団体が作品を販売する「手づくりマーケット」等の催しを行った。	

ク　緑が丘文化祭 2025 への参加

実施日	2 月 23 日(日) 10:00～16:00	主な経費
参加人数	43人	―
会場	緑が丘文化会館	
概要	西部地区に位置する緑が丘文化会館利用者のお祭りに参加し、来観者に向けて協会・目黒区エコプラザの PR として「フードドライブ」「自然エネルギーを体感しよう」を行った。子どもたちには自然エネルギーの体験をとおし、自然エネルギーの大切さを伝えた。	

ボランティア参加状況一覧

延２４人

事業実施月日	事業名	参加人数
5月21日(火)	xChange～子ども服の交換会準備のお手伝い	3人
6月18日(火)	出前講座(向原住区センター児童館・バスボム作り)	2人
8月2日(金)	出前講座(平町児童館・バスボムづくり)	2人
8月9日(金)	サロン・エコライフ「紙パック de 紙すき体験」	4人
8月24日(土)	打ち水大作戦 in 田道ふれあい館	2人
10月13日(日)	リサイクル着物セール	4人
10月13日(日)	がらくた市	1人
12月21日(土)	サロン・エコライフ 「紙袋や包装紙でクリスマスツリーを作ろう」	2人
1月18日(土)	田道ふれあい館まつり	1人
1月 28日(火)	出前講座(八雲住区センター児童館・バスボム作り)	3人

目黒区エコプラザ利用実績表

項　目		令和4年度（2022年度）実績 目黒区エコプラザ	令和5年度（2023年度）実績 目黒区エコプラザ	令和6年度（2024年度）実績 目黒区エコプラザ
利用登録	新規登録者数	94名	93名	72名
リサイクルショップ	受付点数	31,177点	28,352点	25,958点
	販売点数	26,157点	25,991点	24,784点
	販売金額	7,573,425円	7,734,728円	7,360,686円
図書	新規図書等情報入力件数	40件	40件	40件
	図書等貸出件数	180件	134件	132件
不用品情報	不用品情報あげます登録件数	294件	353件	101件
	不用品情報あっせん成立件数	33件	24件	15件
活動室	団体登録件数	4件	4件	
	延利用回数 （午前・午後・夜間）	延263回	延271回	
環境学習室	利用回数			延174回

※ 利用登録数は、更新登録者も含む

令和6年度　目黒区エコプラザ受託事業　決算書

	令和6年4月～令和7年3月			令和5年4月～令和6年3月					
	令和6年度			令和5年度			令和5年度6年度差額		
科　目	予算現額	決算額	残高	予算現額	決算額	残高	予算差額	決算差額	残高差額
【事業収入】									
区受託事業収入 協会	34,040,000	37,746,041	△ 3,706,041	27,000,000	27,000,000	0	7,040,000	10,746,041	△ 3,706,041
ショップ収益金充当	6,859,000	6,516,050	342,950	5,951,600	5,237,408	714,192	907,400	1,278,642	△ 371,242
事業収入　計	40,899,000	44,262,091	△ 3,363,091	32,951,600	32,237,408	714,192	7,947,400	12,024,683	△ 4,077,283
【事業人件費】									
給与手当	21,289,000	24,612,437	△ 3,323,437	16,663,200	15,856,116	807,084	4,625,800	8,756,321	△ 4,130,521
臨時雇賃金	150,000	158,286	△ 8,286	240,000	233,988	6,012	△ 90,000	△ 75,702	△ 14,298
賞与金	4,230,000	4,035,081	194,919	3,503,400	3,320,759	182,641	726,600	714,322	12,278
福利厚生費	362,000	256,064	105,936	265,700	144,487	121,213	96,300	111,577	△ 15,277
法定福利費	4,410,000	4,135,833	274,167	3,409,800	3,145,672	264,128	1,000,200	990,161	10,039
通勤手当	707,000	540,180	166,820	442,500	490,650	△ 48,150	264,500	49,530	214,970
事業人件費　計	31,148,000	33,737,881	△ 2,589,881	24,524,600	23,191,672	1,332,928	6,623,400	10,546,209	△ 3,922,809
【管理運営費】									
通信運搬費	302,000	211,337	90,663	180,000	212,454	△ 32,454	122,000	△ 1,117	123,117
旅費交通費	25,000	38,798	△ 13,798	25,000	22,476	2,524	0	16,322	△ 16,322
減価償却費	900,000	896,280	3,720	900,000	896,280	3,720	0	0	0
修繕費	30,000	0	30,000	20,000	0	20,000	10,000	0	10,000
使用料及び賃借料	741,000	269,541	471,459	180,000	177,128	2,872	561,000	92,413	468,587
手数料	100,000	92,735	7,265	100,000	95,115	4,885	0	△ 2,380	2,380
委託費	352,000	377,800	△ 25,800	252,000	288,108	△ 36,108	100,000	89,692	10,308
負担金	30,000		30,000			0	30,000	0	30,000
租税公課	1,127,000	1,514,700	△ 387,700	1,000,000	1,134,100	△ 134,100	127,000	380,600	△ 253,600
管理運営費　計	3,607,000	3,401,191	205,809	2,657,000	2,825,661	△ 168,661	950,000	575,530	374,470
【事業費】									
消耗品費	528,000	391,140	136,860	421,000	320,099	100,901	107,000	71,041	35,959
修繕費	30,000	0	30,000	30,000	25,000	5,000	0	△ 25,000	25,000
印刷製本費	610,000	483,450	126,550	598,000	509,300	88,700	12,000	△ 25,850	37,850
使用料及び賃借料	260,000	188,301	71,699	230,000	158,656	71,344	30,000	29,645	355
委託費	110,000	121,500	△ 11,500	100,000	100,000	0	10,000	21,500	△ 11,500
諸謝金	336,000	125,000	211,000	266,000	160,000	106,000	70,000	△ 35,000	105,000
負担金	11,000	11,000	0	11,000	11,800	△ 800	0	△ 800	800
会議費	37,000	19,271	17,729	45,000	1,500	43,500	△ 8,000	17,771	△ 25,771
費用弁償	4,182,000	3,913,000	269,000	4,089,000	3,817,250	271,750	93,000	95,750	△ 2,750
事業運営費計	6,104,000	5,252,662	851,338	5,790,000	5,103,605	686,395	314,000	149,057	164,943
受託事業費支出　計	40,859,000	42,391,734	△ 1,532,734	32,971,600	31,120,938	1,850,662	7,887,400	11,270,796	△ 3,383,396
収支差額	40,000	1,870,357	△ 1,830,357	△ 20,000	1,116,470	△ 1,136,470	60,000	753,887	△ 693,887

＊ショップ収益は令和6年度予算対比95%、令和5年度予算対比88%だった為、充当金の決算額も同率を乗じた。